

公益財団法人第五福竜丸平和協会  
2020（令和2）年度事業報告  
2020年4月1日～2021年3月31日

2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により第五福竜丸展示館および公益法人事業にも少なからぬ影響を受けた。

第一に、年度初めの4月1日より6月1日まで展示館が休館となった。年間で最も来館者・学校見学が多いシーズンでの休館であり、再開館した6月2日以降も学校、市民グループ等の見学はほとんど中止・延期となった。

一方新型コロナウイルス感染拡大の影響でオリンピック・パラリンピックが延期となり、大会開催に伴う臨時休館（7月初旬～9月初旬）は取りやめとなった。そのため学校等の夏季休館期間中も開館したが、夏休み企画などはすべて中止し、秋以降の企画も、企画展開催を除いて延期を余儀なくされた。こうした状況のもとで、年間来館者は30,615人とどまり、来館した小学校、中学校、高等学校、大学の合計は53校であった。

展示館での催しができない事態のもとで、社会的にも広がったインターネットやテレビ会議システムを活用したいわゆる「オンライン・イベント」の開催や情報発信にも取り組んだ。これは展示館から海外を含めた遠隔地に情報を届けるという、あらたな経験と知見を生み出し、今後も積極的に生かすべき教訓となった。

## 公益法人のかなめの事業

### ① 展示館業務

- ・ 当年度、第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き307日間開館の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年度3月28日より6月1日まで臨時休館措置をとり254日間開館した。展示館管理業務は307日間実施した。
- ・ 来館者総数は30,615人（前年比27.5%）、うち団体見学数は173団体、3,056人（小学校18校1,292人、中学校4校94人、高校7校279人、大学24校200人、その他の青少年団体11団体162人、一般団体109団体1029人）、一般来館者は27,523人であった。修学旅行などが相次いで、延期・中止となった。
- ・ 見学者に対してこれまでおこなってきた解説は館内では可能な限り時間を短縮し、必要に応じて館外で解説し、より理解を深まるよう見学のサポートを行った。学生のレポート課題、卒業論文、研究者へのレファレンスなどの対応をした。
- ・ カラー版「展示館のしおり」を広報宣伝に活用した。動画の配信やSNS、ホームページ等を活用して企画展をホームページ等で広報し、新聞・テレビ・ラジオの取材に協力した。
- ・ 海外からの渡航が制限されたためここ数年増えていた海外からの来館者がほぼなかったが、オンライン・イベントに海外からの参加者があるなどの変化があった。

- ・ 第五福竜丸の意義を広報する「福竜丸だより」を6回発行した（各回1000部、賛助・ニュース購読会員、協力者・協力団体等に郵送。館内外で配布）。

## ② 新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み

臨時休館前より、東西2か所の入り口に手指消毒用アルコールを設置し、臨時休館から再開時に、以下の対応を行った

- ・ 職員の健康管理（検温、体調のチェック）とマスク着用。
- ・ 入口に注意喚起を行うポスターの設置。
- ・ 館内見学ルートを一方通行とし、西側入り口にスタッフが常駐してマスク着用、手指消毒を促し、入館者人数を把握。
- ・ 「密集しないでください」というポスターを館内6か所に設置
- ・ トイレに液体石鹸、ペーパータオル、ごみ箱の設置と手指洗浄の啓もうポスター設置。・階段手すり、トイレドア、鍵、便座周辺を数回、次亜塩素酸水で消毒・受付カウンターにアクリル板設置
- ・ 映像展示の中止（9月より非接触スイッチを導入するなどして一部再開）・長時間滞在を避けるためベンチの撤去、資料閲覧コーナー中止、ミュージアムショップ中止（ミュージアムショップは10月より再開）。
- ・ 団体見学には展示館前広場などで短時間解説し、館内は自由見学にするなど。
- ・ 5月～8月はリモートワークを導入した。

## ③ 企画展・展示替等の取り組み

### ■ 第1回展示替え 8月31日

常設展示のうち以下のパートをリニューアルした

- ・ 核実験場となったマーシャル諸島共和国
- ・ 世界のヒバクシャ
- ・ 原水爆のない未来へ

### ■ 第2回企画展 9月19日～3月14日

企画展「子どもたちが見たビキニ事件—手紙にこめられたおもい」

当初、6月3日から開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館、入館者抑制などを考慮し、秋の開催とした。また企画段階では手紙の現物を展示する予定であったが、展示ケースの消毒等を考慮し、すべて複製展示とした。関連企画「クジラのような大きな船のコンサート」も今年度は中止とした。

- ・ 手紙の展示テーマバナー4枚  
解説バナー4枚

複製展示 39 点

映像展示 26 点

- ・ 関連企画「記憶の開封プロジェクト」と題し、展示館ボランティアを中心に、ビキニ事件の時代に子どもだった人たちから聞き取りをおこない、意見交換する座談会を 5 回実施した。

### ❖3・1 ビキニ記念のつどい

2 月 21 日「ふね遺産」認定記念オンライン・シンポジウムを開催した。第五福竜丸船体等保存検討委員会の座長である日塔和彦氏を主講演とし、これまでの第五福竜丸保存の取り組みと「ふね遺産」認定の意義について考える機会とした。また、そのほかの委員からはそれぞれの専門野から第五福竜丸やエンジンの現状等について短時間の報告があった。

シンポジウムは東京スポーツ文化館マルチホールを会場としたが、動画共有サイト YouTube でのライブ配信とし、役員数人と技術スタッフ以外の一般参加者の会場参加は行わなかった。第五福竜丸展示館内でも配信映像を上映した。また YouTube で配信された映像は編集し、終了後も公開している。

## ④ 第五福竜丸・ビキニ事件、世界の核被害を伝える取り組み

当年度は、現物資料・展示用パネルの貸し出しに加え、第五福竜丸の被ばくを描いた映画「西から昇った太陽」の普及に取り組み、各地で上映会が企画された。学芸員が非常勤講師を勤める大学（中央大学、恵泉女学園大学）での講義のほか、ストスピーカーとしての講義、市民団体主催の学習会での講演等で第五福竜丸、ビキニ事件について伝える機会をもった。さまざまな制約が発生する中での活動だったがオンラインでの講義や館内からのライブ中継など、これまでにはなかった方法が編み出された。

また、コロナ禍で来館できない人に向けての発信として動画共有サイト YouTube にチャンネルを開設し、展示館とビキニ事件概要「知って、見て第五福竜丸」、収蔵資料紹介、「牛乳パックで作る第五福竜丸工作教室」、絵本朗読「ぼくのみたもの」などの動画を作成・公開した。

### 【資料貸出・パネル展等】

8 月 1 日～8 月 2 日	京都カトリック正義と平和協議会
7 月 16 日～9 月 2 日	浦安市
6 月 24 日～7 月 8 日	平和資料館・草の家
8 月 1 日～8 月 30 日	川崎市平和館
1 月 27 日～3 月 27 日	福岡原水協
2 月 18 日～2 月 27 日	帯広原水協

3月12日～3月14日 ビキニデーin 高知  
3月23日～4月4日 佐倉市平和のつどい  
3月14日 杉並ユネスコ協会  
福島県楢葉町「伝言館」にパネルと「死の灰」レプリカを寄贈

以上、展示9か所

【映画「西から昇った太陽」貸出】

6月15日 医療労組おおさか  
7月1日 ヒロシマ連続講座  
8月26日 静岡県平和委員会  
8月30日 千葉県母親連絡会  
9月23日 静岡県3・1ビキニデー実行委員会  
10月18日 遠州アカデミー  
12月22日 宝仙学園  
3月5日 江古田映画祭

以上、上映8か所

【学芸員講話・講演等】

5月、6月 明治学院大学「広島・長崎講座」ゲストスピーカー  
7月9日 広島連続講座  
7月18日 神奈川県民意聯夏の平和集会  
8月18日 カトリック正義と平和協議会オンライン・イベント  
9月16日～20日 国際平和博物館会議（オンライン、事前録画映像の配信）  
9月25日 出版労連  
10月16日 三輪田学園中学校  
11月19日 横浜国立大学（オンライン）  
11月30日 明星大学（オンライン）  
12月22日 宝仙学園高等学校  
1月23日 三重県生協連「核兵器禁止条約学習のつどい」（オンライン）  
1月25日 横浜市立鶴見中学校  
2月8日 神奈川県民医連ビキニデー学習会  
2月9日 横浜私立もえぎ野中学校（オンライン）  
3月5日 江古田映画祭  
2月26日 川崎市中原区原水協3・1ビキニデーのつどい  
3月13日 みうらピースデー（オンライン）  
3月24日 ペンシルバニア大学（オンライン）

## ⑤ 船体・エンジン等の保存のための検討作業

2020年度は、第五福竜丸船体等保存検討委員会は実施しなかった。19年度に開催した第5回委員会での協議事項に従い、7月1日に第五福竜丸船内のカビ・害虫等による被害状況を調査した。東京文化財研究所生物化学研究室による簡易調査の結果、深刻なカビ・害虫による被害は発見されなかった。しかし、害虫による被害の早期発見、カビの抑制のため船内の清掃と継続観察を行うようにとのアドバイスがあった。これに従い、12月16日に、船体内部の清掃を行った。また7月から8月にかけての一カ月間、東京文化財研究所提供の害虫トラップ（捕獲箱）を館内各所に設置、簡易調査を行った。

8月13日、エンジンの保存対策として、学生ボランティアの協力のもと、エンジンの清掃及びタンニン酸とエタノールの混合溶液の塗布を行なった。

第五福竜丸船体の第3回目となる三次元測量を12月7日に実施した。10月、日本船舶海洋工学会の定める「ふね遺産」に認定された。10月9日に認定授与式は、コロナ禍のため中止された。

## ⑥ 資料収集の取組み

12月13日、大石又七氏の家族より、自宅にある書類、書籍、書簡、写真など関係資料一式の寄贈を受けた（目録作成中）。

## ⑦ その他

### 【特記事項】

- |       |   |
|-------|---|
| 4月5日  | 臨時休館期間延長の告知を出す。                                     |
| 5月13日 | 展示館紹介動画撮影。時事通信取材、配信で話題となる。                          |
| 6月2日  | 再開館。感染予防対策を実施                                       |
| 7月16日 | 東京文化財研究所保存科学センター生物化学研究室より虫取り簡易トラップの提供を受け、船体15か所に設置。 |
| 7月28日 | ロシア国営テレビ・ラジオ東アジア支局長 Sergei Mingajevs 取材。8月4日館内撮影    |
| 8月2日  | 館内でミニ原爆写真展（15日まで開催）                                 |
| 8月5日  | AEDを東入り口風除室に設置                                      |
| 8月6日  | 秋の見学のキャンセル電話が相次ぐ。館内は夏休み自由研究などで訪れる親子連れなどが途切れることなく来館。 |
| 8月13日 | 学生ボランティアがエンジンに錆止めの薬品塗布。トラップの虫を計測                    |

- 8月15日 カトリック正義と平和協議会「脱核ライブ」オンラインで開催。おしどりマコ・ケンほか来館
- 8月29日 カザフスタン共和国大使来館。旧ソ連セミパラチンスク核実験場に関するパネル展示
- 9月19日 企画展「子どもたちが見たビキニ事件」スタート。NHK 取材・報道
- 9月20日 久保山忌句会。1981年より40回目の開催
- 10月22日 「ふね遺産」認定に関して NHK 取材・報道
- 10月24日 三多摩反核火のリレー見学会
- 10月25日 ICAN オンライン LIVE「祝核禁 12 時間テレビ」展示館よりライブ中継に参加。約 160 人が視聴
- 11月3日 共同通信が船内を撮影・取材
- 11月4日 展示館ボランティアの会防災訓練実施。消火訓練、AED 実習
- 12月7日 船体 3D 計測
- 12月16日 船体すすはらい「その 1」
- 12月20日 船体すすはらい「その 2」
- 1月21日 JAICA・東京海洋大学合同企画の教育映画撮影
- 2月13日 福島県沖で地震発生。東京震度 4 船体に異常なし
- 2月21日 3・1 ビキニ記念のつどい、東京スポーツ文化館マルチホールから配信。展示館内でも視聴会
- 3月1日 3・1 ビキニデー集会（実行委員会主催）オンライン企画で、展示館よりライブ中継
- 3月4日 福島県楢葉町・宝鏡寺「伝言館」にパネルと資料を設置 3月20日宮城県沖で地震発生。東京震度 3 船体・館内異常なし。
- 3月21日 第五福竜丸元乗組員・大石又七さんが 3月7日逝去されたことを公表。1987年から34年間協会評議員を勤めた。多数のメディアより電話取材などがあり報道される。
- 3月25日 「マーシャル諸島デジタルアーカイブ」に向けたオンラインワークショップ

【対外活動】

- 7月5日 日本山妙法寺平和行脚出発式見学会で安田和也事務局長挨拶
- 7月19日 ピースサイクル出発式で安田和也事務局長挨拶
- 9月20日 久保山忌句会で安田和也事務局長挨拶
- 10月4日 原爆犠牲者追悼のつどい（主催・東京都）に安田事務局長出席
- 3月1日 久保山愛吉墓前祭（焼津市）で山本義彦代表理事挨拶

#### 【取材協力・資料提供】

- ・ BS テレビ東京「武田鉄矢の昭和は輝いていた～流行語で振り返る昭和史」小学館『きつずジャポニカ』
- ・ 東京書籍中学校道徳教科書「令和 3 年度新訂新しい道徳」
- ・ 毎日映画社中学校道徳「令和 3 年度新訂新しい道徳」（東京書籍）D マークコンテンツ清水書院高校地歴科教科書「高等学校 日本史探求」
- ・ ジェットfoil保存グループ（香港）
- ・ 江東区観光課「江東くらしガイド」
- ・ 昭文社『一日乗車券でめぐる東京』ガイドブック
- ・ 汐文社『はじめて読む科学者の伝記女性科学者猿橋勝子』
- ・ マガジンハウス『CasaBrutus』オンライン版 casabrutus.com

#### 【主な報道】

- 9月3日 毎日新聞「第五福竜丸とむつ、ふね遺産に認定」
- 9月19日 NHK企画展「子どもたちが見たビキニ事件」
- 10月13日 読売新聞「福竜丸乗組員励ます手紙」
- 11月3日 共同配信「水爆実験で被ばく第五福竜丸“ふね遺産”に」（信濃毎日新聞、京都新聞、高知新聞、西日本新聞、山梨日日新聞、岩手日報、愛媛新聞、長崎新聞ほか掲載）
- 10月22日 NHK「ふね遺産認定」
- 2月5日 朝日新聞「核の脅威伝える子どもの手紙」
- 2月25日 日本経済新聞コラム「春秋」
- 2月28日 朝日小学生新聞・朝日中高生新聞「死の灰あびた故郷今も戻れず」
- 3月1日 共同配信「乗組員への手紙60通展示」（河北新報、東京新聞、静岡新聞、中国新聞ほか掲載）
- 3月2日 「福竜丸聞かせて」語る力に元乗組員・大石さん
- 3月21日～22日 大石又七さん訃報を多数のテレビ、新聞が報じた

#### 【ボランティアの会】

- 10月21日 ボランティア座談会
- 11月4日 福竜丸だより発送作業、消防・AED 訓練
- 11月13日 ボランティア座談会
- 11月20日 ボランティア座談会
- 12月12日 ボランティア座談会
- 1月5日 ボランティアの会総会・学習会

【行政庁との連絡等】

- ・ 委託業務定期報告毎月初め、東部公園緑地事務所管理課
- ・ 新木場連絡会隔月開催（コロナ対策として今年度開催せず）

## 2.その他の事業

① 書籍・ミュージアムグッズの頒布

② 出版事業

久保山忌句会 40 回記念俳句作品集『未来へ第五福竜丸とともに』刊行

③ 「福竜丸だより」アーカイブ化

「福竜丸だより」のバックナンバーを第五福竜丸展示館 web サイト上で公開した

## 3.法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した。

- ・ 2020 年 5 月 6 日理事会（展示館資料室とオンライン併用）
- ・ 2020 年 5 月 30 日評議委員会（書面による見なし決議）
- ・ 2021 年 3 月 21 日理事会（展示館資料室とオンライン併用）

賛助会員は以下のとおりである

	2020 年 4 月 1 日	2021 年 3 月 31 日
賛助会員（個人）	307	288
賛助会員（団体）	52	54
ニュース購読会員	94	96